

落雷への対策について

国立赤城青少年交流の家

雷から身を守るために

(1) 雷鳴が聞こえたら

発達した積乱雲（入道雲）は、時に急な大雨、雷、竜巻などの激しい現象を引き起こします。積乱雲は「**大気の状態が不安定**」な気象条件で発生しやすくなります。

気象情報に常に注意をはらいましょう。

雷の音が聞こえたら、野外にいる人はすぐに安全な場所に避難しましょう。自分のいる場所にいつ落雷してもおかしくありません。



(2) 安全な場所に避難

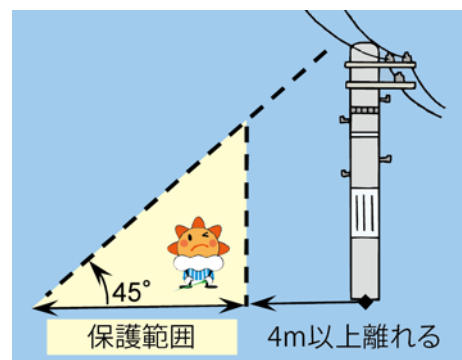
頑丈な建物の中などに避難しましょう。テントへの避難は危険です。グラウンドなど**周りに高い建物がなく周囲が開けた場所**は**とても危険**です。雷は周囲より高いものほど落ちやすいという特徴があるため人に落雷しやすくなります。傘など、**持ち物は体より高く突き出さない**ようにしましょう。

※国立赤城青少年交流の家での避難場所（野外活動時）・・・センター棟、屋根付き広場

(3) 木から4m以上離れる

雨宿りで木の下に入るのは**大変危険**です。落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ること（側撃雷）があります。必ず**木から4m以上離れてください**。

右の図の三角の範囲内は比較的危険が小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。**近くに避難する場所がない場合は、姿勢を低く**しましょう。



国立赤城青少年交流の家では、雷注意報（落雷）の発令時等、事故の可能性が高いと判断する場合、活動の中止をお願いすることがあります。

◎野外活動に役立つHP（気象情報）

- ・レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻） <http://www.jma.go.jp/jp/radnow/>
- ・ウェザーニュース <http://weathernews.jp/>

◎出典・参考資料

- ・気象庁HP <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>